

授業改善等に関する報告書（2021 年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（後期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
調理学及び実習	佐藤 幸子	家庭科の教員にとって、調理の技術および科学的思考は重要です。日常生活において日々努力していきましょう！
生活機器設計演習	塚原 肇	課題は楽しめましたか。 身の回りの材料を使って生活に役立つ道具を作る演習でした。 これからは家庭でいろいろ応用してください。
生活環境学演習	塚原 肇	プロダクトデザインの世界を理解できましたか。 とっても重要で面白い世界です。 多くの学生が興味を持ってくれることを望みます。
マーケティング論	大川 知子	3ヶ月半の授業、お疲れ様でした。グループワークも、本当はもう少し実施したかったのですが、コロナとの闘いの中で、中々上手く出来なかったことが悔やまれます。みなさん総じて、熱心に取り組んでいただき、感謝します。配布資料は、「見易い」という方々と「見難い」という人に二分されていましたが、来年度、再度見直して、ブラッシュアップしたいと思います。シラバスにも記載していますが、テストだけでは評価しておらず、出欠やグループワークへの参画、普段の提出物の状況を総合的に判断しています。いよいよ、最終学年になりますが、引き続き、良い学びを続けて下さい。
住居デザイン論	橋 弘志	いまだコロナ禍ということもあり、いちおう対面の授業ではあったが、実際の測定や実験的な内容は入れづらい状況で、講義中心の色合いが強くなったかもしれない。manabaで提出した課題スクリーンで共有するなど、対面とオンライン要素をハイブリッドすることで、成果を共有する機会などを設けてみた。ただ次年度はオンデマンドとなるため、これまでとまったく異なる進め方を考える必要がある。
生活環境学演習	大川 知子	10の研究室を回ることによって、先生方の個性や、各研究室の特徴などについて、改めて知るきっかけになったようで、良かったです。それぞれ所属が決まった研究室で、3年次にも引き続き頑張ってください。
デザイン基礎演習 b	内藤 将俊	数々の複雑な折り紙建築の作成に加え、スチレンボードを用いてのコンタ模型や光の空間（別荘）と光の空間（自由課題）など、非常に高い創造性を身につけてくださいと思います。とりわけ最終課題の光の空間では、作成材料や光の重なり、影、撮影アングルに趣向を凝らした、極めてレベルの高い作品が多く見受けられました。
福祉住環境論	橋 弘志	授業の中で、responを活用して、なるべくリアルタイムに受講者の声を共有しながら進めることを心がけたが、時間の関係や準備不足でうまく取り入れられないことも多々あった。100分×14回となったことで、時間がうまく配分できず、最後やや不足気味になってしまったことも反省点である。
アパレルデザイン実習 a	川上 梅	〈成長を実感〉〈総合的に満足〉では、回答者の全員が「とてもよく当てはまる」と回答し、授業については満足していると理解しました。
生活環境学セミナー	塚原 肇	前期は椅子作りを行いました。初めての本格的なプロダクトデザインでしたが思い通りのデザインができましたか。今回はデザインのプロセスを習得することが目的でした。このプロセスを2022年度の卒業制作に活用してください。
消費生活学	杉本 公枝	アンケートへの回答ありがとうございました。アンケートを拝見し、複数の方から「消費者問題について理解が深まった」等のコメントをいただきました。授業で学んだことを、今後は皆さんが発信する側に立たれることを期待しています。私は、次年度に向け、総合的満足度を上げるよう、授業の構成及び資料を改善します。

[2021（後期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
インテリアコーディネート論	山口 照也	<p>まず、レポート課題提出結果についてコメントします。</p> <p>① 皆さんが課題対象とした生活空間の割合は、個人生活空間61%、共同生活空間32%、生理衛生空間4%、住居全体4%、1R住居0%で、昨年とほぼ同じ順位でしたが、自分がコーディネーター兼クライアントになれる自室（個人生活空間）を対象にした人が昨年度より増えて6割に達してしまいました。コロナ禍で自室にこもる事での影響もあったと思いますが、他者の立場になって考えなければならない「共同生活空間」を対象にする人が増えて欲しいと願っています。</p> <p>② インテリアコーディネート分析考察項目は、課題要項では2項目以上でしたが、全項目を実践すると「より望ましいインテリアコーディネート」になるはずなので、今後役に立てください。今年度の割合は、家具38%、寝装寝具25%、照明13%、ウィンドトリートメント8%、住宅設備機器6%、インテリアオーナメント5%、内装材3%、建具2%、エクステリアエレメント0%、造作物品0%でした。上位の家具、寝装寝具、照明、ウィンドトリートメントは、生活者自らコーディネートする場合がありますので、コーディネーターを目指す人はこれ以外のエレメントをコーディネートする必要があります。</p> <p>③ レポートのみでの評価は、A+評価0%、A評価7%、B評価43%、C評価32%、D評価18%、未提出0%という結果でした。平均点は32/50点のC評価で昨年度より低くなってしまいました。D評価は、課題要項を守っていなかったり、客観性がなく感想文に近いレポートです。</p> <p>④ レポート課題の「1. 課題対象の現状と現状分析」は、実際のインテリアコーディネートでも「与条件」に当るもので、講義した専門用語を理解して実際の現状分析でも使えるかを試すものでもありました。ここで減点された人が多かったです。</p>
デザイン基礎演習 d	橋 弘志	<p>アンケート結果について、次のようにコメントします。</p> <p>① 「成長の実感の記述」と「自由記述」に21点のコメントがありました。「理解が深まった」「ショールーム見学での見方が変わった」等、多くは好評価のコメントでしたが、意見が2点ありました。1点は「課題が難しい」ですが、講義を聞いていけば難しい課題ではないと思います。もう1点は「レポート課題の1を1ページにまとめるようになっているが、2ページも許可して欲しい」という意見です。簡潔明瞭にまとめる力も大事で、図面は1/50が入らなければ1/60や1/100に縮小しても構いません。</p> <p>② 「あなた自身について」の項目で、「予習復習時間」は昨年より多くなっていて、当該区分平均や全体平均より多いです。「理解度」が昨年度より低く、且つ当該区分と全体平均より低くなっているのが気になります。「欠席回数」が昨年より少なくなっていますが、当該区分平均や全体平均より多いのは皆さんで改善して欲しいです。</p> <p>③ 「この授業の内容と方法について」の項目は、「双方向授業の工夫」が昨年より下り、当該区分平均や全体平均より低くなってしまったので改善を検討します。</p> <p>④ 「全体について」では、「成長実感度」「専門的に学びたい」「満足度」ともに昨年度より高く、当該区分平均や全体平均より高いのは良い結果でした。</p> <p>⑤ 「授業の相応しい実施方法について」では、「オンデマンド型」が44%、「オンデマンド型+双方向型」が22%、「双方向型」と「対面型」がともに17%という結果でした。この授業は講義中心ですが、演習用ワークシートのチェックバックのやり取りがスムーズにできればオンデマンド型中心にしていく事は可能だと思っています。小テストだけではなく、演習用ワークシートを実施すると実践的スキルも身につくので、是非やって欲しいです。</p>
生活環境学セミナー	山崎 和彦	<p>昨年に比べて履修者が倍近くなり、コロナ禍ということもあって、2部屋に分かれて授業を行うこととなった。2部屋をzoomで繋いで画面を通して説明をし、作業中は2部屋を行ったり来たりしながら見るという方法で、何とか昨年と同内容の演習ができたのかなと思う。各自の作品を互いに見て回る機会を設けたことで、他の人の作品に刺激を受けて、作品の質がアップしていったように思う。そのぶん各自の作業としては忙しくなったかもしれないが、それだけ技術的には向上したのかもしれない。</p>
生活環境学演習	佐藤 健	<p>3年生へのゼミ選びお疲れ様でした。これからの活躍に期待しています。社会人への2歩（年）前になりますが、すこしづつ社会性を上げて、コンピテンシー・成長の実感ができるように、チャンスがあればチャレンジするようにしてください。</p>
テキスタイル材料学	加藤木 秀章	<p>基本、難しい学問ですが、今も多様なところに使っているテキスタイルについて少し目をむけると学修に効果的です。</p>
人間工学	佐藤 健	<p>オンデマンドの授業どうでしたか？ 通常の対面だと、授業時のその時に回収できるものを、後ほどWEB経由の回収となると、出遅れ感（メキリ間に合わず）が多かったです。 授業の内容は例年とほぼ同じ内容です。これからも周りに関心を持つようにしましょう。</p>

[2021（後期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ファッションビジネスの世界	大川 知子	受講生のみなさん、アンケートへの協力、ありがとうございました。ほぼ1回ずつのオムニバス形式の授業でしたが、それでもこのファッション産業の極々一端しかご紹介ができていません。それくらい奥が深い産業ですが、この授業を通して、いろいろなことに目を向けていただくきっかけになったのであれば、良かったです。また、学生の方達の個人課題も、バリエーションに富み、この授業の幅を広げてくれました。おひとりおひとりに感謝します。
生活環境学セミナー	内藤 将俊	コーリヤンによるプロダクトデザインコンペやサマースクールでの大きな施設の設計とその発表会、研究室改造計画、光の庭と、様々な活動を一致団結して、積極的に取り組んで下さいました。情熱とこだわりを持って、独創的なものを創造できていたと思います。どれも大変に素晴らしい成果でした。
生活環境基礎 c	塚崎 舞	実験実習の回を多く取り入れた分、例年と比較しかなりPC演習や計算演習の時間が削られてしまいましたが、皆さんとても頑張ってくれていました。これから実験実習が関わる資格取得を目指す方、そのような研究をしてみたいと感じているかたは、この授業を思い出して、今後に生かしてください。
生活環境学演習	内藤 将俊	アパレル・ファッションやプロダクト・インテリア、住環境デザインと幅広い専門分野の全研究室での講義を通して、様々なことを感じて下さったと思います。レポートの提出状況も素晴らしく、皆さんの積極性を強く感じ取ることができました。
建築構造	橋 弘志	建築構造は、基礎からの理解の積み上げと反復練習による蓄積が必須です。今年は授業前に「予習動画」を作成してアップしてみました。事前に見ておくだけでなく、復習にも活用してもらおうと、理解が進むのではないかと思います。期末試験の結果をみても、全体に昨年よりもやや向上したような気がします。あとは、せっかくの対面授業で、SAもつけて気軽に質問できる体制をとっていたので、ただ「分からない」というだけでなく、分からないことがあればどんどん積極的に聞いてくれると良いですね。
生理学	山崎 和彦	配付するプリントの枚数は年々増加し、情報は年々充実し、私が語る内容も年々豊かになっていると自分では思っているのであるが、質問にやってくる学生は年々減少し、学生のまなざしは年々曇り、内職にいそむ学生の姿は年々増加しているようである。どうしたものだろう。
色彩設計演習 a	槇 究	Q7とQ9の得点が平均より低く、説明の分かりやすさに課題があったようです。人によって感じ方に違いがある分布となっているので、クラス内での差が大きかったということが読み取れました。分かりにくいと感じた人達への対策を考えてみます。
生活環境学セミナー	大川 知子	3年生のみなさんには、manabaを通じて、入力の依頼をしていましたが、結果、1名の方からのみの提出でした。本研究室の主だった活動は、後期の「産学プロジェクト」で、そちらのアンケートには全員が協力下さったので、そちらも参考にしながら、来年度の活動も引き続き実施します。
マルチメディアデザイン演習	山崎 和彦	課題に取り組む姿勢の違いが極端である。つまり真面目派と、やっつけ仕事で済ます派である。それぞれが、それなりの人生を送るのであろう。
デザイン基礎演習 b	内藤 将俊	数々の複雑な折り紙建築の作成に加え、スチレンボードを用いてのコンタ模型や光の空間（別荘）と光の空間（自由課題）など、非常に高い創造性を身につけて下さったと思います。とりわけ最終課題の光の空間では、作成材料や光の重なり、影、撮影アングルに趣向を凝らした、極めてレベルの高い作品が多く見受けられました。
生理人類学実験	山崎 和彦	私が望むことは、テキストに記したものは単なる例であるから、それ以上の条件を自ら設定し、実験に取り組むことである。ともあれ、諸君はヒトや環境に関する多くの実験手法を学んだわけであるから、この経験を卒業研究に活かして欲しい。
生活環境学演習	加藤木 秀章	いろいろなことを知り、今後のことを想像すると学修が効果的になります。
基礎造形演習	塚原 肇	この授業は開講して3年目です。できるだけ3年以降の専門の授業に役立つように工夫を重ねて内容を充実させています。まだまだ全てをカバーできていないとは言えませんので、こんなのをやってみたい等のご意見があれば聞かせてください。参考にします。
プロダクトデザイン演習	塚原 肇	授業の内容は理解できましたか。今後のプロダクトデザインの基礎となる演習ですからしっかりと理解してください。分からないことや疑問があればいつでも相談にのります。
アパレルデザイン実習 a	川上 梅	<成長を実感><総合的に満足>では、「とてもよく当てはまる」71.4%、「当てはまる」28.6%でしたので、授業についてはほぼ満足していると理解しました。

[2021（後期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ファッション企画論	川上 梅	〈成長を実感〉〈総合的に満足〉は、「とてもよく当てはまる」「当てはまる」を合計して約70%いることから、授業には概ね満足しているものと考えますが、〈授業全体の理解度〉は、「どちらともいえない」が53.8%いますので、できるだけ工夫したいと思います。
消費科学	大川 知子	4年生最後の授業を担当させていただき、総じて高い評価をいただき、感謝します。この4年間、アパレル領域の学びを通して、入学前とは明らかに異なる知識と、多角的に物事を見る視点が養えたのではないかと期待します。後半、主に取り上げた環境問題は、これからの社会を担うみなさんにとって、大変重要なテーマであると同時に、変化のスピードがとても早い為、卒業後も、様々なメディアを通して、常に正しい最新の情報にアップデートして行って欲しいです。
生活環境科学	塚崎 舞	毎週の授業を受けた上で、自分の考えをつくりだして発信するというような内容ですすめていきました。授業の板書を写したり、考えをまとめるのは大変だったと思いますが、大事なポイントを抜き出して考える練習だったと捉えてもらえるといいなと思います。これからの就活、卒論に、今回苦労した点をぜひ生かしていきましょう。
建築デザイン論	内藤 将俊	複数の建築家や構造建築家、世界的な家具メーカーの代表、照明デザイナー、都市計画家、大工棟梁、建築写真家、ITのプロダクトマネージャーなどの正にトップランナーの方々が集結してくださり、広範囲かつ先進的な内容のレクチャーであったのに対し、皆さん、非常に前向きに講義に参加してくださいました。
生活環境学セミナー	楨 究	4名と回答が少なかったため、コメントは差し控えますが、1名成長が実感できないとした人がいるので、卒業研究を取るのであれば直接はなしをしてみたいと思います。
デザインワークショップ	内藤 将俊	建築インテリア構法に続く、より高度な建築一般構造科目として、木造や鉄骨造、鉄筋コンクリート造に渡る広範囲な構造と構法についてのレクチャーに加え、オリジナルの軸組み図面を作成し、壁量計算を行い、さらに軸組み模型を組み立てるなど、非常に専門的な内容の講義であったと思いますが、皆さんがしっかりと成果物を完成させたことは、大変に素晴らしい成果であったと思います。
繊維高分子材料実験	加藤木 秀章	世の中の製品は、さまざまな評価等が行われています。製品を使う前に少し疑問に思うことが学修向上につながります。
生活環境学演習	川上 梅	10研究室の説明を聞き、3年次での入室ゼミを決定するという内容の授業でした。志望のゼミに入れた人も、入れなかった人も、3年次ではゼミ活動を通し、成長して下さい。
アパレル生産	大川 知子	『アパレル生産』受講生のみなさん、多くのコメント、ありがとうございました。ひとつの製品が出来上がるまでの、複雑で長い工程を学ぶことによって、様々な物事を考えるきっかけになったといったコメントが寄せられ、また、課題等を通して、学生間での学びも促進出来たようで、何よりでした。ただ、配布資料の中に字が細かくて不鮮明だったものもあった為、その点は来年度改善します。今回は、たまたま「アパレル製品」について勉強しましたが、みなさんの身の回りにある全ての工業製品には、同様の背景があります。是非、そういった観点からも改めて周囲を見直してみてください。
テキスタイル材料実験	加藤木 秀章	実験でのレポート作成時、図書館等でさまざまな雑誌・本を読むことでより学修効果が得られます。
繊維高分子材料学	加藤木 秀章	身近な製品にふれ、レポート等以外での授業の予習・復習を日々行うとより学修効果が得られます。
生活環境学セミナー	加藤木 秀章	なかなか仕組み等がわかりにくいこともあるかもしれませんが、図書館等を活用しながら多様な視点・学問についてふれると、より学修効果が高まります。

[2021（後期）生活環境学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
		<p>まず、レポート課題提出結果についてコメントします。</p> <p>① 皆さんが課題対象とした空間の割合は、個人生活空間23%、共同生活空間53%、1R住居20%、住居全体4%、生理衛生空間0%で、昨年度より共同生活空間を対象にした人が過半数を超えたのが今年度の特徴です。共同生活空間を課題対象にすると我がままな判断ではなく客観的な判断が必要になるので良かったです。</p> <p>② インテリアデザインの分析考察項目の割合は、あかり13%、素材色彩12%、家具10%、屋内環境・設備9%、行為9%、心理8%、窓8%、出入口6%、床6%、ファブリックス6%、寸法6%、壁3%、天井2%、かたち1%、架構1%です。あかり、家具、素材色彩は毎年度ベスト3ですが、今年度は屋内環境・設備と行為が4位に上がったのが特徴です。コロナ禍の生活の影響があるようです。</p> <p>③ レポートのみでの評価は、A+評価0%、A評価13%、B評価28%、C評価26%、D評価30%、未提出3%という結果でした。平均点は32/50点でC評価です。昨年度よりA評価は変わらず、B評価とC評価が減って、D評価が倍に増えました。D評価は、課題要項を守っていなかったり、客観性がなく感想文に近いレポートです。</p> <p>④ レポート課題の「1. 課題対象の現状と現状分析」は、実際のインテリアデザインでも「与条件」に当るもので、講義した専門用語を理解して実際の現状分析でも使えるかを試すものでもありました。ここで減点された人が多かったです。</p> <p>⑤ 評価には関係していませんが、デザインの思考よりコーディネート的思考のレポートが増えてきているようです。原点から考え、「本質を見抜く力」を養って欲しいと願っています。</p>
インテリアデザイン論	山口 照也	<p>アンケート結果について、次のようにコメントします。</p> <p>① 「成長の実感の記述」と「自由記述」に65点のコメントがありました。「理解が深まった」「分析考察力が身についた」「固定観念にとらわれてはいけなかった」等、好評価のコメントが多かったのですが、「建築系の授業をとっていないと分からないことが多かった」という意見が1点ありました。分かりやすい解説を心掛けていますが、インテリアデザインは建築デザインの一部でもあるので、専門科目である以上ある程度は止むを得ないと受け止めてください。</p> <p>② 「あなた自身について」の項目で、「予習復習時間」は当該区分平均や全体平均より多いですが昨年度より少なくなっており、「理解度」も昨年度より低くなってしまいました。予習復習時間をシッカリとって欲しいです。</p> <p>③ 「この授業の内容と方法について」では、「シラバス内容や到達目標との一致」と「聞き取りやすさ」以外は昨年度より下がってしまいました。「配布資料の分かりやすさ」は昨年度まで高かったのですが、今年度からプリント配布をマナバ掲載のみにした事が原因のように思います。</p> <p>④ 「全体について」は、「成長実感度」は昨年度より低くなり、当該区分平均より低くなっています。本年度は演習用ワークシートを実施した人が少なかった事が原因と考えられます。「総合満足度」も昨年度より低くなっており、全体平均より低いです。私の方でも改善できる部分は改善していきますが、演習用ワークシートを含めた予習復習をシッカリ行い、自信を持って取り組んで欲しいです。</p> <p>⑤ 「授業の相応しい実施方法について」では、「対面型」が42%、「オンデマンド型」が33%、「オンデマンド型+双方向型」が13%、「双方向型」が9%、「その他」が2%、という結果でした。この授業は講義中心ですが、演習用ワークシートもあるので、板書解説やチェックバックがスムーズな対面型が望ましいと考えています。ただ、履修者が多いので、コロナ感染対策からオンデマンド型でもできるようにしてあります。小テストだけではなく、演習用ワークシートを実施すると実践的スキルも身につくので、是非やって欲しいです。</p>
生活環境学演習	橋 弘志	<p>全体にかなり高い点数をつけてくれているので、すべての研究室を巡って体験するという、この演習授業の意義があらためて確認できたものと思います。3年になってゼミ活動が本格的に始まった際、各自のエネルギーを存分に発揮してくれるとよいと思います。</p>
ICT基礎演習	佐藤 健	<p>コロナ禍での対面授業で実施しました。成果としては、WindowsとUnix端末を製作できました。ネット社会では、これらのサーバーサービスをする機器がどこかにあります。もちろん、照明などの環境制御もデータが取られて、省エネルギー、低炭素社会に向けたICTが利用されていることに深い理解ができればいいです。</p>
生活環境学演習	山崎 和彦	<p>毎年、5%ほどがD判定ストレスとなる。それを救うか落とすかは担当者の考え次第である。私は、出席回数が基準を満たしていたら「課題を与えた上で救う派」である。ともかく、この種の科目は、普通に振る舞えば楽に単位を得ることができるから、もたつくようではダメである。</p>
生活環境学セミナー	佐藤 健	<p>週1回のゼミ活動は、どうでしたか？ 社会人のトレーニングとしては、無断欠席したりしないようにしましょう。学会発表まで活動をできたので、コロナ禍での制限された活動としては、まずまずです。例年の高齢者施設や工場見学ができなかったのが残念です。</p>